

## 第1回学校自己評価アンケートの結果について

秋冷の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃から学校の教育活動へのご理解とご協力に感謝いたします。

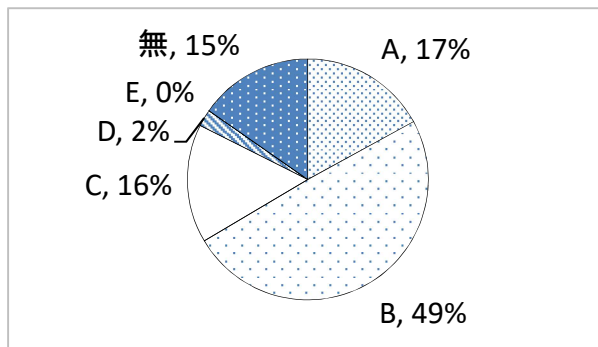
6月に実施しました第1回学校自己評価アンケートへのご協力、ありがとうございました。アンケートの結果がまとまりましたので、ご報告申し上げます。保護者の皆様からいただいたご意見を踏まえて、今年度のこれからの教育活動に活かしていきたいと考えております。

今後も、保護者の皆様と共に歩む学校でありたいと願っております。よろしく願いいたします。

今回のアンケートにつきましては、150家庭より回答をいただきました(解答率85%)。

## 【質の高い個別の指導計画・授業】

①個別の指導計画をもとに、授業のねらいがたてられ、達成のための工夫がされた授業になっていると思いますか。

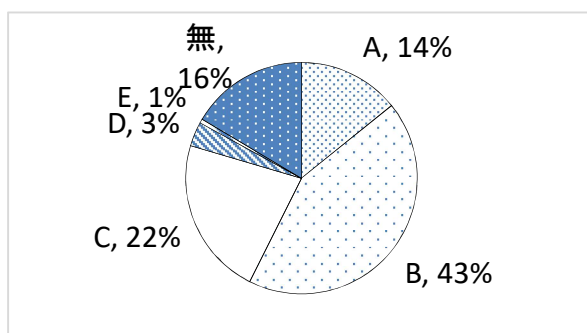


A : 大変満足している	17%
B : 満足している	49%
C : どちらでもない	16%
D : やや修正が必要だと思う	2%
E : 修正が必要だと思う	0%

質の高い個別の指導計画やそれを基にした授業に関して、A「大変満足している」と、B「満足している」という2つの合計は6割を超えています。本校では、学校目標に示されているように「一人ひとりの子どもの可能性を最大限伸ばす支援」を大切にしており、保護者の皆様や関係機関との連携を密にしながら、その時々に適した児童生徒の実態・課題の把握に努めていきます。指導・支援計画の立案や授業の考案については、TT(ティームティーチング)による複数の目の共通認識をもちながら、学校全体で教育課題を大切にしたい授業づくりを心がけていきます。

## 【職員の専門性】

②子どもの支援について、職員が特別支援教育の専門性を生かしながら支援ができていると思いますか。

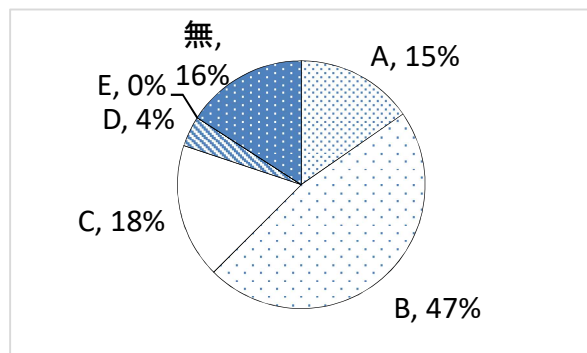


A : 大変満足している	14%
B : 満足している	43%
C : どちらでもない	22%
D : やや修正が必要だと思う	3%
E : 修正が必要だと思う	1%

A「大変満足している」、B「満足している」という2つの合計が57%であり、約6割となっています。職員からは指導・支援計画の立案や授業の組み立てに難しさを感じる意見も多く挙げられており、研修を重ねながら学校全体で専門性を高めていく必要があると感じております。学年が上がるごとに児童・生徒の自主性・自発性が求められますが、“自立するためのきめ細やかな指導・支援”といった視点を常に意識し、できる状況づくりや可能性を伸ばすことに焦点をあてていきます。

### 【児童・生徒が自ら動く姿が見られる授業】

③子どもが見通しをもち、授業の内容を理解し、自ら動く姿が見られる授業になっていると思いますか。

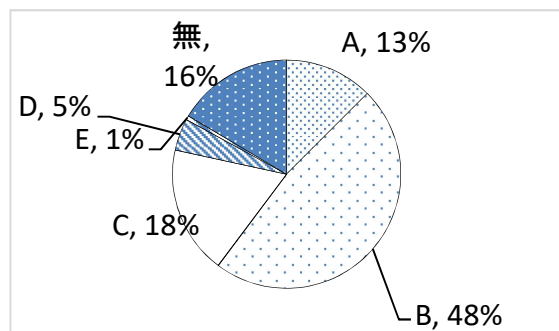


A：大変満足している	15%
B：満足している	47%
C：どちらでもない	18%
D：やや修正が必要だと思う	4%
E：修正が必要だと思う	0%

A、Bの合計は6割を超えており、おおむね良好な結果が得られました。児童生徒の実態に適した授業を集団で組み立てていくことについては、職員間で課題を共有しながら、各部署で取り組んでいきます。今後も学校公開・参観日等の機会を大切にしながら保護者の方と児童・生徒の姿を共有していき、忌憚のない意見をいただきながら向上・改善に努めていきたいと考えています。

### 【個々の良さが伸びる教育】

④学校は、子どもの一人ひとりの障がいの特性や実態に配慮して、個々の良さが伸びる教育が実践できていると思いますか。

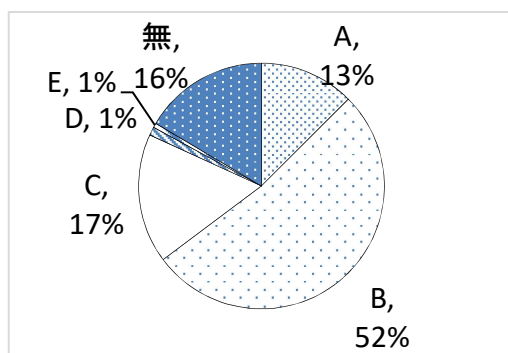


A：大変満足している	13%
B：満足している	48%
C：どちらでもない	18%
D：やや修正が必要だと思う	1%
E：修正が必要だと思う	5%

A、Bの合計は6割を超えています。近年、多様な特性の児童生徒が増えていますが、研修を深めながら職員の専門性を高め、障がい理解と個に応じた指導といった特別支援教育の視点を大切に、個々の良さが伸びる指導・一人ひとりに配慮した支援を行っていきます。「わかる・できる・次につながる」教育が実践できるよう、日頃から授業の振り返りや次時の検討を積極的に行えるチーム作りに励んでいきます。

## 【地域との連携・地域への支援】

⑤学校は、地域に開かれた学校を目指し地域の方々との連携（交流・支援等）を図りながら教育を行っていると思いますか。

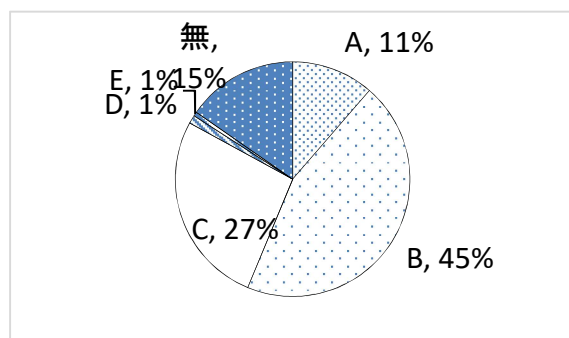


A：大変満足している	13%
B：満足している	52%
C：どちらでもない	17%
D：やや修正が必要だと思う	1%
E：修正が必要だと思う	1%

結果はA、B合わせて6割を超えており、富士見小交流、地域校交流などに対して非常に良い機会ととらえているコメントを多くいただきました。一方で、「地域との交流の機会はあるが、活動の様子を詳しく知りたい」等の意見をいただき、活動内容の周知も同時に進めていくことを大切にしたいと考えています。本校のグランドデザインを踏まえた地域との連携を意識しながら、今後も開かれた学校づくりを行っていきます。

## 【圏域への支援】

⑥学校が諏訪圏域に対して実施している相談支援や就学支援は、適切に行われていると思いますか。

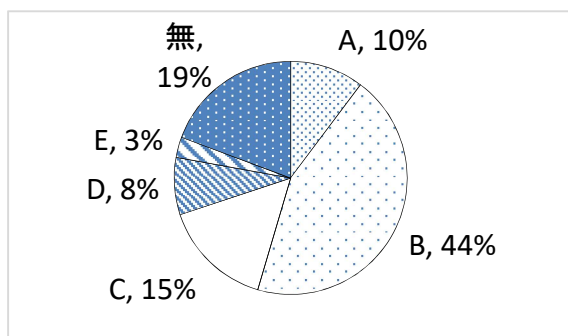


A：大変満足している	11%
B：満足している	45%
C：どちらでもない	27%
D：やや修正が必要だと思う	1%
E：修正が必要だと思う	1%

「よくわからない」「どう判断したらよいか今の段階では何とも言えない」等の、受けてきた相談支援や就学支援についてどのようにとらえたら良いかわからないといった意見をいただきました。心配なこと・困っていること等、担任・学校へ相談していただける体制を作っていく、必要に応じて外部機関とも連携し様々な立場から児童生徒の支援にあたっていきます。児童生徒の学びの場に関しても、その時々の実態に応じて最適な場を検討していくことが大切ですので、遠慮なくご連絡いただけたらと思います。

## 【安全・安心な学校環境の充実】

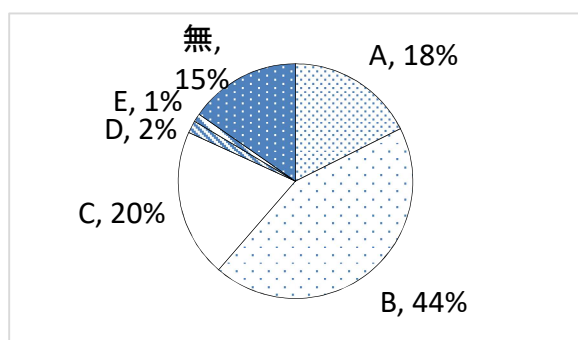
⑦学校が実施している、安全指導や避難訓練、また現状の施設・設備等の環境は、子どもが安全な生活を送る上で十分だと思いますか。



A : 大変満足している	10%
B : 満足している	44%
C : どちらでもない	15%
D : やや修正が必要だと思う	8%
E : 修正が必要だと思う	3%

A Bを合わせた割合は54%であり、特に施設・設備面に関する点では改善が必要といった声が多く寄せられています。昨年度の酷暑を受け、エアコン工事の着工に取り掛かるなど、最優先事項を明確にしたうえで整備・改修を行っているのが現状です。今後も、改善点については、学校・PTAから県への陳情等でさらに要望していきます。

⑧学校は、いじめ・体罰・セクハラ防止に努め、子どもの人権に配慮した支援を行っていると思いますか。



A : 大変満足している	18%
B : 満足している	44%
C : どちらでもない	20%
D : やや修正が必要だと思う	2%
E : 修正が必要だと思う	1%

A Bを合わせた割合は6割を超えています。人権に配慮した支援に関して、保護者の皆様より寄せていただいた「障がい理解し、一個人として尊重した支援を」等のご意見一つひとつの意味するところを大切に受け止め、職員全員で日々の自身の姿を見返し、あたたかな支援を心がけていきます。

お忙しい中、第1回アンケートへのご協力ありがとうございました。今回のアンケート結果を踏まえて、よりよい教育活動が行われるように取り組んでまいりたいと思います。

第2回のアンケート実施は12月を予定しております。  
ご協力よろしくお願いいたします。

長野県諏訪養護学校  
教頭 星合 祐一  
担当 熊谷 祥  
TEL 0266 - 62 - 5600